

特集

在宅だからこそその
ラップ療法

非医療材料である「ラップ」を使用した褥瘡ケアについて、とくに在宅など、医療用創傷被覆材の継続使用が困難な療養環境においての使用を日本褥瘡学会が認めて1年。しかし、ラップを貼れば治るというものはありません！ 在宅ならではの難しさもあります。

在宅だからこそそのラップ療法のポイントと工夫について特集します。

在宅ならではの褥瘡ケアの難しさ

——“ラップ療法”の利点をいかに活用するか●岡田晋吾

創を見る目を養おう！

——ラップ療法の適応・禁忌、合併症の予防と対策●水原章浩

ラップだけでは治らない！

在宅ラップ療法で一番大切なこと●小林和世

“中野式”褥瘡ケアのアルゴリズムと

ラップ療法への取り組み●中野一司、他

家族と一緒につくる

自家製ドレッシングの作り方●中島由美子

介護施設における褥瘡ケアとラップ療法

——看護師・介護職との協働●大西山大

特別記事

手で目と鼻で創の声を聞く●藤広満智子

INTERVIEW ケアする人々

末安民生さん×香丸眞理子さん

(慶應義塾大学)

(NPO法人ACT)

編集後記

昨年9月11日に広島で開かれた自称“介護バカ”の集いを撮ったドキュメンタリー映画を観ました。登場した宅老所を営む介護のカリスマたちは、いずれも35歳前後。「ケアする人々」の鹿島さんの予言？と見事に符号していました。映像は主にトークライブ。高齢者介護や地域づくりの葛藤を、とにかく語り合おうとする姿が印象的でした。特集テーマの在宅緩和ケアにも葛藤がつきもの。それを「言葉」にして同僚や他職種と共有する大切さを、吉原さんも高橋さんも角田さんも指摘しています。本特集は、在宅緩和ケア実践の経験と意思とを、執筆者それぞれに言葉にさせていただいたものです。みなさんの言葉を、世代を超えて読面と共有できればと思います。…杉本

長崎と東京を行き来しながら介護施設を探し、やっと母親の落ち着ける場所を見つけることができた。と本誌特別記事の瀬戸口さん。施設に入居するまでもそのあとも、細かな介護の気遣いは東京に暮らす瀬戸口さんの娘さん(母親からは孫にあたる)二人に大いに助けられている(3階建て介護)という。一方、「ケアする人々」欄の鹿島さんは、「僕を育ててくれた祖父母がはっきりしているうちに恩返しをしたい」とインタビューのなかで語っています。どちらも三世代の関わりがあってこそ温かい。同居するだけではない、離れて暮らしていても助けあえる、前号の服部連載で紹介された中島京子著『平成大家族』のもう1つの形を見た思いです。…伊藤

訪問看護と介護 第16巻 第2号(通巻176号) 2011年2月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2011, Printed in Japan

1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年々め予約購読料13,200円(冊子体のみ、年間12冊、税込、送料弊社負担)/18,200円(冊子+電子版、税込、送料弊社負担)/13,200円(電子版/個人、税込、送料弊社負担)/15,180円(電子版/共有、税込、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院/代表者：金原優/販売部：03-3817-5659/社内案内：03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：杉本・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp/

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, E-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/11/ ¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。